

手柄山中央公園 案内板



寄贈
 姫路大手前ライオンズクラブ
 2008年3月27日

花と緑、輝く光、薫る風
 家族みんなでリフレッシュ





手柄山群集墳

手柄山（標高四九m）は「播磨国風土記」筋磨郡伊和里の条にみえる「手刈丘」に比定される。これまで旧石器時代から古墳時代にかけての遺物が数多く採集され、かつて多くの遺跡が存在したことが窺える。

特に古墳時代には十数基を越える古墳（手柄山群集墳）が築かれていた。平成五年に姫路市教育委員会によって一・二号墳の発掘調査が実施され、手柄山の往時の姿を解明する上で貴重な調査成果が得られた。一号墳は、残存長約一mを測る横穴式石室を持ち、市内でも有数の規模であった。出土した須恵器から六世紀後半から七世紀中頃のものと考えられる。二号墳からは、玉類（水晶製切子玉・碧石製管玉・ガラス製玉）、鉄器（太刀・刀子等）、須恵器（蓋・杯・埴瓶・壺）、土師器（壺等）等が出土し、六世紀中頃に構築されたことが明らかになった。なお、手柄山周辺部には船場川沿いに小山遺跡（弥生・古墳時代）、橋詰遺跡（縄文・古墳時代）、生矢神社裏遺跡（弥生時代）など数多くの遺跡が存在する。



手柄山周辺の遺跡

TEGARAYAMA ANCIENT TOMB GROUP

Tegarayama, which appears as "Tegari-oka" (手刈丘) in a book written in the 8th century, is an ancient site. Many remains of the Kofun Period from the Paleolithic Period are found here. In the Kofun Period, there were more than 10 ancient burial mounds. Grave goods were excavated from here in 1993. As a result of excavation, it became clear that ancient burial mounds were built in the 7th century from the 6th century. Around Tegarayama, there are many ancient sites along the Semba River.

平成一九年八月

姫路市教育委員会





総合公園

姫路市手柄山中央公園





姫路市立
手柄山温室植物園
休 園 日 / 金曜日(当園日祭の日と祭日の場合は、
12月25日～1月1日)
入園時間 / 午前9時～午後4時30分

姫路市立
手柄山
温室植物園
開園時間
午前 9 時から午後 5 時まで
(入園は午後 4 時 30 分まで)
休 園 日
毎 週 金 曜 日
(金曜日が休日の場合は、
前日が休園日となります)













この先 有料
展示室・温室

入
口

※ この先、有料となります
入園の方は一度、受付にて
入園券をお買取りください。
※ 予め下さ











播磨国刀匠顕彰碑



